

石川県漁海況情報

453号
2020年6月30日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

小型いか釣りの水揚量（期間:5月1日～6月22日）

- 水揚量は前年および過去5年平均を上回っています。
- 魚体は前年および過去5年平均に比べて大きめです。

水産総合センター・トピックス

- 「アユ釣りが解禁されました。」「七尾湾貝桁網操業が終了しました。」

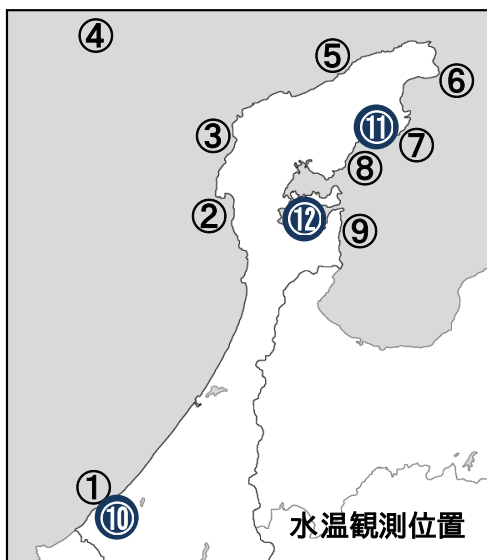
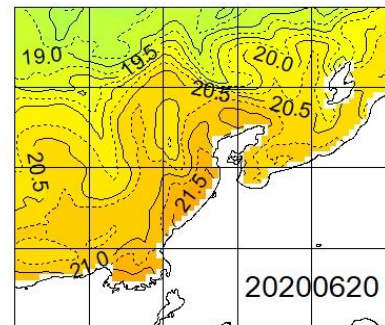
石川県周辺海域の海面水温（期間:6月16日～20日）

■ **沿岸の海面水温** 6月20日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は20～21℃台で、過去5年平均との差は-0.5～+0.5℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は20.3～21.1℃で、6月上旬から約1.7℃上昇しました。過去5年平均との差は+0.4～+1.5℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は20.6～22.7℃で、前年同時期との差は-0.2～+1.4℃、過去5年平均との差は+0.2～+1.2℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 6/16～6/20	前年差	過去5年 平均差
① 橋立沿岸	21.1	+0.8	+1.1
② 富来沿岸	20.7	+0.3	+0.7
③ 門前沿岸	20.3	+0.2	+0.4
④ 猿山岬沖	メンテナンス中	データなし	データなし
⑤ 曾々木沿岸	21.1	+1.1	+1.5
⑥ 小泊沿岸	20.9	+0.9	+1.2
⑦ 小浦沿岸	20.8	+1.3	+0.8
⑧ 鶴川沿岸	20.7	+1.5	+0.8
⑨ 岸端沿岸	20.6	+1.4	+1.1

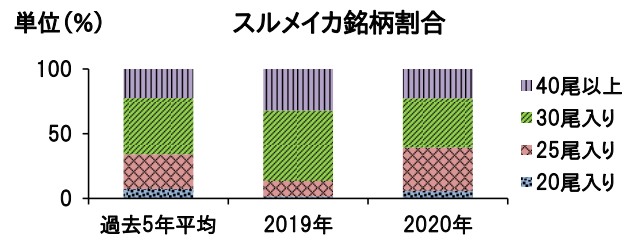
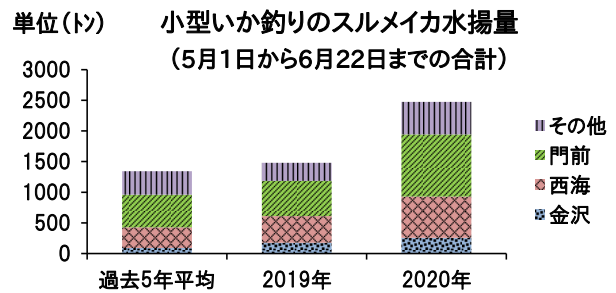
港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 6/16～6/20	前年差	過去5年 平均差
⑩ 橋立港	22.5	+1.4	+1.2
⑪ 宇出津港	20.6	+0.8	+0.3
⑫ 石崎港	22.7	-0.2	+0.2

小型いか釣りのスルメイカ水揚状況（期間:5月1日～6月22日）

■ 本県沿岸の小型いか釣り漁船による水揚げは終盤に入っています。5月1日から6月22日の県内水揚量は2,475トンであり、前年の1,482トン、過去5年平均の1,343トンを上回っています。6月22日現在、漁場は主に西海・門前・輪島沖にあります。佐渡以北ではまだ本格的な漁場形成はない模様であり、漁場の北上は遅めとなっています。

■ 銘柄（1箱当たりの入り尾数）別の箱数割合をみると、今年は20尾入りと25尾入りの割合が39%と高く、前年および過去5年平均に比べて魚体は大きめとなっています。



石川県主要港の水揚状況（期間:6月1日～15日）

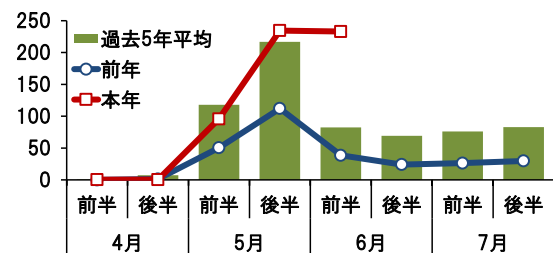
■ 定置網 スルメイカ・サバ・サワラ・サゴシは前年を上回り、マイワシ・トビウオは前年並み、ブリは前年を下回りました。フクラギ・コゾクラは富来・輪島の外浦を中心に233トン水揚げされました。4月前半から6月前半までの累計は564トンで、前年（203トン）および過去5年平均（425トン）を上回りました。マアジは宇出津・七尾地区を中心に85トン水揚げされました。4月前半から6月前半の累計は184トンで、前年（200トン）並みであり、過去5年平均（422トン）を下回りました。

■ まき網 サバ・マアジは前年を上回り、マイワシ・ウルメイワシは前年を下回りました。

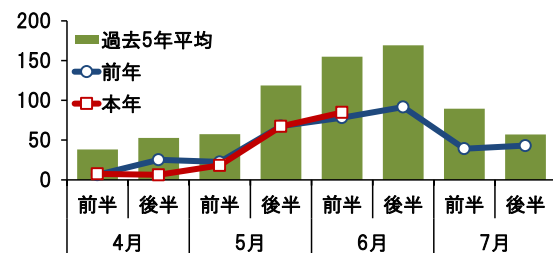
■ 底びき網・ごち網 アマエビ・スルメイカ・マダラ・ハタハタは前年並み、ニギスは前年を下回りました。

■ 刺網・釣り・その他 ベニズワイガニは前年並みでした。ヤナギバチメは輪島を中心に10トン水揚げされました。3月前半から6月前半までの累計は70トンで、前年（96トン）および過去5年平均（109トン）を下回りました。

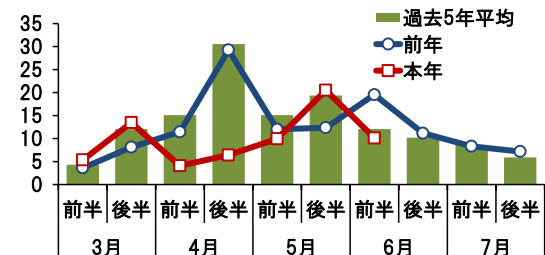
単位(トン) 定置網のフクラギ・コゾクラ水揚量



単位(トン) 定置網のマアジ水揚量



単位(トン) 刺網・釣りのヤナギバチメ水揚量



集計期間 6月1日～6月15日 (水揚量の単位はトン)

水揚港 魚種	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲 地区	宇出津	七尾 地区	期間合計	
								本年	前年
定置網									
ふくらぎ・こぞくら	1.1		75.5	90.0	6.9	29.4	30.1	232.9	38.7
するめいか	0.1		0.0	0.4	1.6	31.7	144.6	178.4	50.5
さば	0.0		0.1	8.5	1.6	82.2	51.0	143.4	11.6
ぶり	0.4	0.0	79.0	21.5	0.6	4.3	4.3	110.1	194.7
まあじ	2.0	3.6	0.7	5.3	2.8	25.2	45.2	84.8	78.2
まいわし					0.0	37.1	39.2	76.3	75.0
ざわら・さごし	1.4	0.5	3.7	2.2	5.3	13.1	26.8	52.9	30.4
とびうお	1.5	0.4	7.3	8.0	0.7	1.4	3.5	22.8	27.2
ふぐ類	0.2	1.8	3.4	2.8	1.1	2.4	1.1	12.7	9.6
このしろ			0.0	0.1	0.1	3.4	3.7	7.3	1.7
その他	4.4	1.3	5.8	6.6	3.6	12.0	18.9	52.7	91.9
合計	11.1	7.6	175.4	145.3	24.4	242.0	368.5	974.4	609.5
まき網									
まいわし	—		481.4	61.2		—		542.6	773.0
さば	—		271.2	43.0		—		314.2	180.1
まあじ	—		106.9	34.9		—		141.8	46.2
うるめいわし	—		33.3	3.3		—		36.6	343.3
するめいか	—		16.7			—		16.7	1.9
その他	—		0.2	1.7		—		1.9	8.9
合計	—	—	909.6	144.2	—	—	—	1053.8	1353.4
底びき網・ごち網									
あまえび	14.4	36.2		2.9	8.1		—	61.5	65.4
するめいか	0.1	0.5	0.3	30.7	1.7	0.1	—	33.5	40.1
まだら	0.2	0.2	0.1	30.4	2.1		—	33.1	29.6
にぎす	0.0	13.9	5.0	9.3	1.4	1.4	—	31.1	48.3
はたはた	3.0	0.1	8.1	4.6	6.4	5.3	—	27.6	33.1
その他	14.0	13.2	8.9	70.8	5.1	0.8	—	112.8	98.2
合計	31.8	64.2	22.5	148.6	24.8	7.6	—	299.5	314.8
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		22.2	23.4					45.6	46.1
やなぎばちめ(ウスマバル)	0.0	0.0	0.0	9.4	0.1	0.0	0.5	10.1	19.5
まだこ	0.0	0.0		2.1	0.9	2.2	3.4	8.5	7.7
さざえ			0.8	0.3	1.5	2.6	1.7	6.9	9.6
まいわし							5.0	5.0	0.1
めっきだい(キイ)	1.5	0.4	0.6	2.1	0.1			4.6	4.6
まだい	0.1		0.3	3.9	0.1	0.1	0.1	4.4	7.7
かわはぎ(ウマヅラ)	0.2	0.0	0.1	3.9	0.2	0.0	0.1	4.4	10.3
その他	1.4	1.8	7.7	26.7	1.2	2.9	4.1	45.8	66.5
合計	3.1	24.4	32.9	48.3	4.0	7.8	14.9	135.5	172.2
小型いか釣り									
するめいか20入り	0.0	6.2	12.9	11.4	0.7	0.0	0.0	31.1	3.5
するめいか25入り	0.0	32.5	85.8	72.1	5.7	0.4	0.0	196.5	33.2
するめいか30入り	0.0	31.7	84.1	76.0	12.9	0.8	0.0	205.6	143.8
するめいか40入り以上	0.0	28.4	61.9	40.6	7.4	4.4	0.0	142.7	102.5
合計	0.0	98.9	244.7	200.1	26.6	5.6	0.0	575.8	283.1
総計	46.0	195.0	1385.2	686.6	79.8	263.0	383.4	3039.0	2733.0

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

アユ釣りが解禁されました。

■ 6月16日、県内の主な河川で今シーズンのアユ釣りが解禁されました。当日は14日に降った大雨の影響により、多くの河川で水が濁るなど条件の悪い中でのシーズン到来となったため、例年に比べて人出は少なくなりましたが、いくつかの河川では解禁を待ちわびた愛好者が朝から釣りを楽しむ姿が見られました。

■ アユは全国各地に分布しており、1年という短い一生のうち海と川を行き来する回遊魚です。本県では秋(10月～11月上旬)になると河川の下流域で産卵が見られます。約2週間後にふ化した仔アユは海(河口付近の沿岸域)へと下り、冬の間はプランクトンを食べて成長します。春(4月～6月上旬)になると河川に遡上し、川底の藻類(コケ)を主食とするようになります。

■ 内水面水産センターでは、毎年、手取川におけるアユの遡上状況調査を行っています。今年は暖冬の影響もあってか、例年よりも早く遡上が始まり、サイズも大きいものが多く確認されました。また各漁協によると、今年は県内の多くの河川でアユの遡上が多くみられており、成長も良好とのことから、河川状況の回復等により釣果が上がることを期待しています。

■ これから秋の産卵期にかけて、たくさんのアユが太公望を楽しませてくれることでしょう。(山岸 大)



写真 アユ釣りを楽しむ遊漁者

七尾湾貝桁網操業が終了しました。

■ 今年度の七尾湾貝桁網操業が終了しました。操業期間は4月19日～6月15日で、操業船5隻によりトリガイ164kg、アカガイ954kgが水揚げされました。

■ トリガイの漁獲量は、昨年度(1,621kg)の約1/10となり、過去10年平均(3,745kg)と比較しても非常に低調な水揚げとなりました。漁獲されたトリガイは大・中銘柄で、漁期序盤は1キロあたり3,000円前後と低値の取引となりましたが、徐々に回復し漁期終盤には大銘柄で1キロあたり8,000円を超える日もありました。一方、アカガイの漁獲量は好調であった昨年度(2,243kg)よりは少ないものの、過去10年平均(1,169kg)並みの水揚げとなりました。(川田桃子)



写真 貝桁網操業で使用する漁具
長いツメで海底を掘り起こすようにして貝を獲る。